

| 取組:1 歴史遺産の保存と活用の調和を生み出す仕組づくり | 主体 | | 実施期間 | | | 実績 | 備考 |
|---|----|---|------|----|----|--|---------------------------|
| | 地域 | 市 | 前期 | 中期 | 後期 | | |
| (1)地域とともに保存・活用を進める仕組づくりに関する取組 | | | | | | | |
| 1)所有者、市民、市民団体等の活動把握 | | | | | | | |
| ●保存・活用の活動把握・情報収集〔聞き取りなど情報収集による実態調査〕 | ○ | ◎ | — | — | — | ・まちづくり組織への聞き取り調査や情報収集は未実施 ・一部の校区でのみ、意見交換を実施 | ・計画的な聞き取り調査を実施していく |
| ●情報交流イベントの開催〔歴史遺産の担い手による情報交換の機会を創設〕 | ○ | ◎ | — | — | — | — | — |
| ●担い手などの情報のリスト化〔歴史遺産の担い手や活動内容のリスト化〕 | — | ◎ | — | — | — | — | — |
| 2)所有者、市民、市民団体等への活動支援 | | | | | | | |
| ●相談窓口、情報提供受付システムの構築〔窓口やホームページで情報提供を受付〕 | — | ◎ | — | — | — | ・相談や情報提供は常時、受付しているものの、受付システムの構築は出来ていない | ・相談や情報提供を受付ける仕組みを検討する |
| ●支援制度の創設〔地域による歴史遺産に関する調査や維持管理への技術的支援〕 | — | ◎ | — | — | — | — | — |
| ●顕彰制度の創設〔継続した活動への顕彰〕 | — | ◎ | — | — | — | — | — |
| 3)市民参加型の取組の推進 | | | | | | | |
| ●市民活動連絡会議の開催〔保存活用連絡協議会(仮)の創設と定期的な開催〕 | ◎ | ◎ | — | — | — | — | — |
| ●市民参加型プロジェクト等、市民参加促進のための周知〔歴史遺産の保存・活用への参加を促す機会の創設と呼びかけ〕 | ○ | ◎ | — | — | — | — | — |
| ●歴史遺産の保存・活用に関する人材配置〔歴史遺産保護指導員の設置〕 | ○ | ◎ | — | — | — | — | — |
| ●文化財保存活用支援団体の検討〔歴史遺産の保存・活用を行う団体の活動把握と実態調査〕 | ○ | ◎ | — | — | — | ・歴史や文化をテーマに活動する団体の把握を進めた | ・文化財保存活用支援団体を指定するか、検討を進める |
| (2)保存・活用の仕組を動かす体制づくり | | | | | | | |
| 1)地域、民間団体、庁内関係部局との連携 | | | | | | | |
| ●庁内関係部局との連携〔プロジェクトチームの編成 庁内検討会の開催〕 | — | ◎ | — | — | — | ・該当事業がないため開催なし | ・該当事業が生じた際に検討会の発足や情報共有を図る |
| ●歴史的風致維持向上計画などの検討と作成〔関係部局と連携した歴史遺産保存・活用に関する取組の検討〕 | △ | ◎ | — | — | — | — | — |
| ●民間活力の活用〔民間団体の助成制度、クラウドファンディングの活用 ヘリテージマネージャーの育成と活用〕 | ◎ | ◎ | — | — | — | — | — |
| 2)専門的な知識を有した職員の採用と配置、専門性の向上 | | | | | | | |
| ●専門的な知識を有した職員の採用と配置及び専門性の向上〔各種事業に必要な人材の継続的な配置、専門性を向上させる研修会の開催、参加〕 | — | ◎ | — | — | — | ・福岡県主催研修会へ参加 | ・専門性を向上させる機会を積極的に確保する |
| ●歴史遺産のマネジメント力の向上〔歴史遺産の保存・活用に関する情報収集やマネジメント力を高める研修会の開催〕 | — | ◎ | — | — | — | ・文化財行政講座へ参加 | ・継続的な予算の確保していく |
| 3)新たな制度の創出と条例・規則の見直し | | | | | | | |
| ●関連条例や規則の見直し〔文化財保護条例や関連規則の改正。要項の作成〕 | — | ◎ | — | — | — | ・筑後川遺産登録制度実施要綱(作成中) | ・条例、規則等の見直しを進める |
| ●新たな制度の検討と創出〔筑後川遺産登録制度の創出、歴史的風致維持向上計画など、新たな制度導入について検討〕 | △ | ◎ | — | — | — | ・筑後川遺産登録制度の創出と運用への準備 | ・筑後川遺産登録制度を運用開始する |

| 取組:2 活用に配慮した歴史遺産の保存に関する取組 | 主体 | | 実施期間 | | 実績 | 備考 |
|--|----|---|------|----|----|---|
| | 地域 | 市 | 前期 | 中期 | | |
| (1)歴史遺産を見つけ、価値を明らかにする | | | | | | |
| 1)歴史遺産の把握と調査・研究の実施 | | | | | | |
| ●地域と連携した歴史遺産の把握とマップなどの記録作成〔校区内の歴史遺産の悉皆調査と文化財マップの作成〕 | ◎ | ◎ | ■ | ■ | ■ | ●城島町の校区マップの作成準備・調査 ●文化財マップの印刷 ●悉皆調査の実施 |
| ●歴史遺産の調査・研究〔埋蔵文化財や有形・無形文化財など、各種歴史遺産の調査・研究〕 | ○ | ◎ | ■ | ■ | ■ | ●開発に伴う埋蔵文化財の調査 ●過年度発掘調査の資料整理 ●高良山総合調査(国分寺、福聚寺) ●梅林寺建造物調査 ●調査成果の公開 |
| ●研究施設の確保と充実〔埋蔵文化財センターや文化財収蔵館、調査事務所などの整備〕 | — | ◎ | ■ | ■ | ■ | — |
| ●大学や近隣の研究・教育機関との連携による調査・研究〔久留米大学、久留米工業大学、久留米高等専門学校との連携、九州歴史資料館など、市内外の研究機関との共同研究〕 | ◎ | ◎ | ■ | ■ | ■ | ●発掘調査(益生田古墳群)での有識者の意見聴取 ●福岡市・九州歴史資料館での遺物保存処理 ●様々な分野での連携を模索 |
| 2)歴史遺産の把握と調査・研究の実施 | | | | | | |
| ●調査・研究成果の報告会、講演会の開催〔研究会やシンポジウムの開催 市内施設を活用した展示会や講演会の開催〕 | △ | ◎ | ■ | ■ | ■ | ●高良山総合調査シンポジウムは新型コロナウイルスの影響により中止 ●コロナ後の調査成果発表イベントの在り方の検討 |
| ●刊行物の作成〔調査・研究成果を掲載した冊子・パンフレットの刊行〕 | △ | ◎ | ■ | ■ | ■ | ●発掘調査報告書の刊行(5冊) ●筑後国府跡パンフレット作成 ●調査・研究成果の速やかな公開 |
| ●調査・研究成果のデジタル化、アーカイブの作成と公開〔調査成果のデジタル化による一元化と公開〕 | — | ◎ | ■ | ■ | ■ | ●資料のデータベース化 ●データベースの公開 ●全国遺跡総覧への公開 |
| (2)歴史遺産を守り共有する | | | | | | |
| 1)所有者、市民、市民団体等との連携 | | | | | | |
| ●所有者、校区コミュニティ組織との定期的な連絡〔管理状況報告のための連絡会議の開催〕 | ◎ | ◎ | ■ | ■ | ■ | ●高良大社や梅林寺、善導寺、須佐能袁神社など所有者との情報共有は実行 ●校区コミュニティ組織との連絡会議は未完了 ●地域計画の周知不足 ●コロナ禍による行動制限 |
| ●校区別文化財保護指導員や文化財リーダーの配置、文化財パトロール隊の結成〔地域によるモニタリングと結果報告〕 | ◎ | ◎ | ■ | ■ | ■ | — |
| 2)歴史遺産の指定・選定・登録 | | | | | | |
| ●歴史遺産の指定・選定・登録の推進〔法的措置による歴史遺産の保存・活用の推進〕 | ○ | ◎ | ■ | ■ | ■ | ●梅林寺ティーハウス(令和3年10月国登録)、篠山神社の国登録文化財への意見具申提出(令和4年2月) ●分野の偏り解消 ●市指定文化財を増やす取組 |
| ●市登録文化財制度等の検討と創設〔筑後川遺産制度など、市独自の制度の検討と創設〕 | △ | ◎ | ■ | ■ | ■ | ●筑後川遺産制度の検討 ●筑後川遺産制度の周知。登録へ向けた作業と登録後の取組の整理 |
| 3)歴史遺産の修理・保存整備 | | | | | | |
| ●指定等文化財や収蔵資料の修理・修復〔大名家馬家関連資料の修理・修復、毀損した指定等文化財の修理・修復〕 | — | ◎ | ■ | ■ | ■ | ●小野川才助化粧廻し修復 ●有馬家霊屋(重文)応急処置 ●大善寺旧庫裏(市指定)修理 ●予算の確保 ●計画的な修理・修復 |
| ●史跡や建造物の保存整備〔筑後国府跡や装飾古墳の保存整備 有馬家霊屋5棟の修理〕 | ○ | ◎ | ■ | ■ | ■ | ●筑後国府跡、下馬場古墳、御塚・権現塚古墳、安国寺甕棺墓群などの管理実施 ●史跡整備へ向けた庁内のコンセンサス・予算確保 |
| ●保存活用計画の作成〔下馬場古墳、安国寺甕棺墓群など、国指定文化財の保存活用計画の作成〕 | ○ | ◎ | ■ | ■ | ■ | ●下馬場古墳など装飾古墳の保存管理計画作成へ向け、令和4年度に委員会発足予定 ●計画的かつ実効性のある保存活用計画の作成 |

| 取組:2 活用に配慮した歴史遺産の保存に関する取組 | 主体 | | 実施期間 | | | 実績 | 備考 |
|--|----|---|------|----|----|---|----------------------------|
| | 地域 | 市 | 前期 | 中期 | 後期 | | |
| 4)保存環境、防災・防犯体制の構築 | | | | | | | |
| ●空調・防虫施設の整った収蔵施設の確保〔文化財収蔵施設的环境改善〕 | — | ◎ | | ■ | | — | — |
| ●脆弱遺物や展示不可能資料の複製品の作成と公開〔3DプリンターやVR等による複製品の作成と一般への公開〕 | — | ◎ | ■ | ■ | ■ | — | — |
| ●消防署・消防団と連携した防災訓練の実施〔定期的な見回りと文化財防火デーにおける防災訓練の実施〕 | ○ | ◎ | | ■ | | ・継続して実施中 ・文化財防火デーは朝日寺を予定するも、コロナで中止 | ・日常的な情報共有の仕組の検討 |
| ●自然災害・人災に効果的な防災設備の充実〔防災ネットや安全柵の設置〕 | △ | ◎ | ■ | ■ | ■ | — | — |
| ●消防・警察と連携した文化財防災・防犯マニュアルの作成〔歴史遺産の防災・防犯に係る対応協議とマニュアル作成〕 | ○ | ◎ | | ■ | | — | — |
| ●史跡など歴史遺産の予防的な整備〔樹木の伐採や高木の剪定 排水路の清掃など〕 | ○ | ◎ | ■ | ■ | ■ | ・指定地の樹木伐採や剪定など実施 | ・予算の確保と定期的な見回りの必要性 |
| ●獣害への対応〔イノシシやアライグマなどによる被害把握と対応〕 | ○ | ◎ | | ■ | | ・田主丸大塚公園において獣害(イノシシ)被害対応 ・高良山神籠石指定地内のイノシシ被害例年発生 | ・県、市の担当部局と協議調整 ・予防措置の確立 |
| 5)伝統技術の継承支援 | | | | | | | |
| ●技術講習会の開催〔技術継承を考えるワークショップの企画と開催〕 | ◎ | ◎ | | ■ | | ・(公財)久留米耕技術保存会への協力 | ・未指定の伝統技術の把握 |
| ●技術の披露・継承機会の創出と体験型企画の開催〔職場体験や実技を体験する機会の創出〕 | ◎ | ◎ | | ■ | | ・(公財)久留米耕技術保存会への協力 | ・未指定の伝統技術の把握 |
| ●技術保持者(団体)のリスト化〔伝統技術の保持者や団体を台帳化し継承支援に活用〕 | ◎ | ◎ | | ■ | | — | ・未指定の伝統技術の把握 |
| 6)歴史遺産の情報集約と公開 | | | | | | | |
| ●無形民俗、技術などの記録保存〔調査票や記録映像による記録保存の実施〕 | ◎ | ◎ | | ■ | | ・久留米耕(重要無形文化財)の記録映像作成協力 ・動乱蜂(県指定)、竿ためし(赤司八幡宮)の調査 | ・無形民俗、技術の記録と調査 |
| ●地域や有識者との連携による歴史遺産の調査〔地域との連携による校区を単位とした歴史遺産の調査を実施〕 | ◎ | ◎ | | ■ | | — | ・把握のための仕組みづくり |
| ●情報集約方法の構築と運用〔調査体制の構築と調査の実施〕 | ○ | ◎ | | ■ | | — | ・体制の構築 |
| ●歴史遺産のリスト、データベースの作成と公開〔歴史遺産に係る情報のデータベース化と公開〕 | ○ | ◎ | | ■ | | ・文化財収蔵館収蔵資料のデータベース作成 | ・市内に所在する歴史遺産の調査とリスト化 |

| 取組:3 歴史遺産の保存に向けた活用に関する取組 | 主体 | | 実施期間 | | 実績 | 備考 |
|--|----|---|------|----|----|--|
| | 地域 | 市 | 前期 | 中期 | | |
| (1)歴史遺産を守り、活かす学校教育・社会教育の推進に関する措置 | | | | | | |
| 1)歴史遺産を学び、活かす学校教育の推進 | | | | | | |
| ●小・中学校、高校、大学などで出前授業・講座の開催〔地域の歴史を学ぶ講座の実施〕 | ○ | ◎ | — | — | — | ・小・中学校、特別支援学校、高校での出前講座を12回実施 ・久留米大学で「博物館概論」の講義を全15コマ実施(Web) ・特定の学校に偏らない情報提供のあり方 |
| ●小・中学校、高校、大学との連携事業の創出〔歴史遺産を題材とした調査や展示など学生による企画、学校と市による連携した企画の実施〕 | ◎ | ◎ | — | — | — | ・「まちづくり」をテーマにした久留米大学の学生を、ゼミの教授とともに寺町散策を実施(2回) ・学校のカリキュラムや授業時間の確保との調整 |
| ●小・中学生向けイベント、ワークショップの開催〔古代食の再現など食育メニューの開発、無形文化財や修理現場見学等、職場体験の実施〕 | ◎ | ◎ | — | — | — | — |
| ●夏休みの宿題の題材提供〔自由研究などへの協力〕 | ◎ | ◎ | — | — | — | ・窓口に来庁された学生の相談に個別に対応 ・HP等での積極的な呼びかけ |
| 2)歴史遺産を学び、活かす社会教育の推進 | | | | | | |
| ●市内各地での歴史講座、出前講座の開催〔既存の出前講座「私のまちの歴史と文化財」の拡充〕 | ◎ | ◎ | — | — | — | ・校区郷土学級や学校などへの出前講座を36回実施 ・生涯学習施設などでの講座を13回実施 ・講師の偏りの解消 |
| ●企画展やシンポジウム、ワークショップの開催〔地域の歴史遺産との関わりや愛着を感じさせる企画の実施〕 | ◎ | ◎ | — | — | — | ・六ツ門図書館展示コーナーで企画展2回実施 ・有馬記念館で企画展3回実施 ・福岡県庁やえーるピア久留米、アクロス福岡などで久留米入城400年関連の展示や久留米餅の作品展を開催 ・求められる内容と、実現可能な企画展テーマの調整 |
| ●歴史遺産に関わる体験イベントの開催〔祭り行事など、地域の歴史遺産を体験する機会を創設〕 | ○ | ◎ | — | — | — | ・学校のカリキュラムや授業時間の確保との調整 ・受け入れ可能な団体や地域との調整 |
| (2)歴史遺産を守り、まちづくりや地域振興へ活かす | | | | | | |
| 1)まちづくり活動等との連携 | | | | | | |
| ●各種ワークショップの推進〔歴史遺産を見つけ守り、活かし伝えるためのワークショップの開催〕 | ◎ | ◎ | — | — | — | ・合川校区にてワークショップ開催の予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により開催見送り ・求められる内容と、実現可能な企画展テーマの調整 |
| ●パンフレット作成などによる地域の情報発信〔校区や地区の広報誌への情報掲載〕 | ◎ | ◎ | — | — | — | ・「広報くるめ」に「有馬入城400年」関連連載(14回) ・「広報くるめ」の「これ知っとお」の校正等協力 ・「広報きょうまち」への掲載協力(「京町校区の見どころ知りどころ」全8回) ・定期的な発行物の見直しと内容の更新 ・協力可能な団体との情報発信の調整と協力 |
| ●歴史遺産を活かしたまちづくり拠点の整備〔坂本繁二郎生家や青木繁旧居など歴史的建造物の活用〕 | ◎ | ◎ | — | — | — | ・「 <u>坂本繁二郎生家</u> 」 ・2月13日:文化財体験学習「寛永通宝と手鏡をつくろう!」実施 ・貸室利用申し込み:20件(会議やお茶会、撮影会などに使用) ・効果的な情報発信の検討 |
| ●歴史遺産を活かした移住促進、ブランド化の推進〔関係部局と連携した歴史遺産を活用した魅力の発信〕 | ◎ | ◎ | — | — | — | ・外部団体からの問い合わせに対して情報提供を実施 ・関係部局との連携・調整 |
| 2)地域振興へ活かす | | | | | | |
| ●自治会、子ども会、女性の会、老人クラブなど地域活動の推進〔地域の歴史を学び・守り・活かす活動を推進〕 | ◎ | ◎ | — | — | — | ・出前講座での対応として実施 ・各団体への情報提供体制づくり |
| ●地域コミュニティ組織や市民団体等と連携したイベントの開催〔古墳や歴史的建造物を巡る企画の実施 火おこしなどの古代体験の実施〕 | ◎ | ◎ | — | — | — | ・京町校区:「京隈かいわいめぐり」と同日に京町歩きイベント実施予定 ・「久留米まち旅博覧会」のプログラムとして実施 ・出前講座 ・求められる内容と、実現可能なテーマの調整 |

| 取組:3 歴史遺産の保存に向けた活用に関する取組 | 主体 | | 実施期間 | | 実績 | 備考 |
|---|----|---|------|-------|--|--|
| | 地域 | 市 | 前期 | 中期/後期 | | |
| (3)歴史遺産を守り、観光振興へ活かす | | | | | | |
| 1)観光部局等との連携 | | | | | | |
| ●歴史遺産をいかしたPRコンテンツの企画・作成 [観光部局等のPRコンテンツへの協力] | ○ | ◎ | ■ | ■ | ・観光情報誌やサイトへの協力 | ・企画・作成のための情報発信及び情報収集のため、広い分野でのPRが必要 |
| ●歴史遺産を紹介するガイドの研修と派遣 [職員や希望者への研修とガイドの実施] | ○ | ◎ | ■ | ■ | ・「高良山ガイドの会」会員研修への出前講座 | ・他団体の掘り起こし |
| ●位置情報を活用した歴史遺産に触れるアプリ開発 [サインと連動した情報発信方法の検討] | △ | ◎ | ■ | ■ | — | — |
| 2)歴史遺産を文化観光へ活かす | | | | | | |
| ●歴史遺産への観光誘致 [古社寺や史跡等への観光誘致 周遊ルートの作成] | △ | ◎ | ■ | ■ | ・ストーリーシート「有馬の城づくり・まちづくり」(西部編・東部編)を作成:久留米城下町を地図を片手に巡る ・ユーチューブ発信により、ストーリーシートの使い方 | ・観光部局との連携 |
| ●解説板や案内板設置など、環境整備 [解説板の新設と更新 観光部局と連携した環境整備] | △ | ◎ | ■ | ■ | ・既存の説明板の解説板面の貼替え(4ヶ所:城島町2、鹿毛家住宅、千光寺梵鐘) | ・計画的に実施するための説明板設置候補のリスト作成 ・観光部局との連携 |
| 3)歴史遺産を活かす民間事業者との連携 | | | | | | |
| ●ユニークメニューの推進 [歴史的建造物や史跡を舞台にした企画の実施] | ○ | ◎ | ■ | ■ | ・新型コロナウイルス感染症拡大の影響もあり、具体的な実施は出来なかった | ・関係部局及び関係団体との調整 ・実現可能な物件の選定と、活用内容の検討 |
| ●歴史的建造物の活用 [宿泊施設、飲食店、物品販売店などへの活用を検討] | ◎ | ◎ | ■ | ■ | ・旧十七銀行の飲食店改築に伴う、資料等の情報提供 | 活用可能な歴史的建造物、活用内容についての検討 |
| ●歴史遺産を取り入れた観光イベントの企画 [まち歩きイベント等への歴史遺産の活用] | ○ | ◎ | ■ | ■ | ・「久留米まち旅博覧会」のプログラムとして実施 ・「京隈かいわいめぐり」(京町校区)と同時開催予定の「梅林寺ガイドツアー」 ・観光コンベンションによる「久留米入城400年ウォーク」を計画していたがイベント中止 | ・求められる内容と、実現可能なテーマの調整 |
| ●歴史遺産をモチーフにした商品開発 [久留米入城400年に係る商品開発など] | ◎ | ◎ | ■ | ■ | ・「久留米入城400年」PR用陣羽織・団扇等の制作 ・民間事業者への入城400年関連商品の開発協力 | ・一過性に終わらないよう制作した商品の継続的な活用 ・民間事業者などの協力体制づくり ・新たなテーマの模索が必要 |

| 取組:3 歴史遺産の保存に向けた活用に関する取組 | 主体 | | 実施期間 | | 実績 | 備考 |
|--|----|---|----------|---|--|------------------------|
| | 地域 | 市 | 前期/中期/後期 | | | |
| (4)歴史遺産の価値や魅力の情報発信 | | | | | | |
| 1)多様な発信 | | | | | | |
| ●多彩な情報通信技術を用いた情報発信〔ホームページやSNSによる情報発信〕 | — | ◎ | ■ | ■ | ・市HP、市LINEアカウント、有馬FBアカウント | ・効果的かつ継続的な情報発信 |
| ●歴史遺産関連総合情報サイトの構築と発信〔ポータルサイトの構築と発信〕 | — | ◎ | ■ | ■ | — | — |
| ●歴史遺産の価値や魅力を伝えるAR、VR、MRの開発〔久留米城や有馬家霊屋、装飾古墳を対象にした開発を推進〕 | — | ◎ | ■ | ■ | ・3D技術を用いた遺物計測・古墳測量のデモンストレーション実施 ・遺跡の3D測量・VRデモンストレーション実施 | ・予算の確保 |
| ●広報誌、新聞などによる情報発信〔市広報誌やタウン情報誌、新聞各社への情報提供〕 | — | ◎ | ■ | ■ | ・シティプラザ情報誌・ノーマジーン・cocomi・コアちゃんキッズ・久留米美食案内・ちぎん地域経済レポート・ほとめき冬号への掲載 | ・定期的に掲載できる媒体の確保 |
| ●情報発信イベントの実施〔ボランティア体験、修復作業見学会などの開催〕 | △ | ◎ | ■ | ■ | — | — |
| 2)歴史遺産の拠点づくり | | | | | | |
| ●既存施設を活用した展示空間の確保〔久留米市美術館、久留米シティプラザ、コミュニティセンター、商業施設、空き家など〕 | — | ◎ | ■ | ■ | ・10月 アクロス福岡 久留米餅の展示への協力 ・12～1月福岡県庁よかもん広場 久留米入城400年記念展 ・2月えーるピア久留米 入城400年関連展示 | ・展示等に関わる体制の整備 ・情報収集 |
| ●収蔵展示施設の確保〔保存環境が整備された収蔵施設の確保を検討 展示施設の拡充を検討〕 | — | ◎ | ■ | ■ | — | — |
| (5)歴史遺産を取り巻く環境の保全、整備に関する措置 | | | | | | |
| 1)歴史遺産の群としての保存・活用 | | | | | | |
| ●歴史ルートづくり事業の推進〔歴史遺産を取り巻く周辺景観の保全・形成〕 | ○ | ◎ | ■ | ■ | ・大塚古墳歴史公園・下馬場古墳・高良山神籠石等拠点となる歴史遺産の除草・樹木剪定等管理 | ・拠点となる歴史遺産の保存活用計画の策定 |
| ●筑後川遺産の設定と推進〔歴史ストーリーの創出「歴史のまち久留米 ストーリーシート」の作成〕 | ◎ | ◎ | ■ | ■ | ・ストーリーシート8 有馬の城づくり町づくり其之二発行 ・ストーリーシート7・8関連動画の制作公開 | ・筑後川遺産と連動した歴史ストーリーの構成 |
| ●デジタルアーカイブの作成〔データベースの構築と公開〕 | — | ◎ | ■ | ■ | — | ・文化財情報ポータルサイトの構築 |
| 2)案内板、解説板等の充実 | | | | | | |
| ●多言語化、ユニバーサルデザインに対応した案内板、解説板の設置〔指定等文化財への案内板、解説板の設置〕 | — | ◎ | ■ | ■ | ・説明板面改修に伴う英文の追加(千光寺梵鐘) ・リーフレット歴史散歩の英語版Web公開 | ・改修や新設等に合せた内容の変更 |
| ●情報発信コンテンツ(QRコード、アプリ)への対応〔解説板へのQRコードの掲載〕 | — | ◎ | ■ | ■ | — | — |
| 3)周辺景観の保全、形成 | | | | | | |
| ●文化財保存活用区域の検討〔歴史的風致維持向上計画の検討とも連動した文化財保存活用区域の検討〕 | △ | ◎ | ■ | ■ | — | — |
| ●景観計画や都市計画マスタープランとの連携〔関係部局と連携した施策の立案〕 | — | ◎ | ■ | ■ | ・総合政策課、都市計画課との意見交換 | ・各種計画改訂の際に地域計画を反映させる |
| ●歴史遺産周辺の環境整備〔歴史遺産周辺の道路、広場整備への助言〕 | ○ | ◎ | ■ | ■ | — | — |

| 筑後川遺産による歴史遺産の保存・活用 | 主 体 | | 実施期間 | | | | | | 実 績 | 備 考 | |
|------------------------------------|-----|---|------|----|----|----|----|--------|-----|--|---------------------------|
| | 地域 | 市 | 前 期 | | | | | 後 期 | | | |
| | | | R3 | R4 | R5 | R6 | R7 | R8~R12 | | | |
| (0)筑後川遺産登録制度の運用 | | | | | | | | | | | |
| ●新たな筑後川遺産を把握する仕組みを構築し、推進します | ○ | ◎ | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ | ・要綱の検討 ・把握の仕組み構築は未実施 | ・把握の仕組みの早期構築 |
| ●新たな筑後川遺産の登録を行います | ○ | ◎ | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ | ・登録候補となる団体との協議(田主丸町・城島町) | ・筑後川遺産登録の具体化 |
| ●筑後川遺産の周知普及を図る取組を行います | ○ | ◎ | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ | ・周知用パンフレット・チラシの検討(作成中) | ・周知不足 |
| ●歴史のまち久留米 ストーリーシートの作成を行います | ◎ | ◎ | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ | ・歴史のまち久留米 ストーリーシート7・8の作成 | ・筑後川遺産の登録推進 ・関連イベントの開催 |
| ●「筑後川遺産保存活用の推進プログラム」全体の評価、見直しを行います | ○ | ◎ | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ | — | — |
| (1)攻める！戦国高良山 | | | | | | | | | | | |
| ●山城関連歴史遺産の調査 | ○ | ◎ | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ | ・本宮山(杉ノ城)の踏査 | ・文献等他分野の調査 |
| ●山城散策コースの整備 | ○ | ◎ | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ | ・管理業務実施 | ・予算確保と危険箇所の把握 |
| ●高良山歴史遺産の環境整備 | ○ | ◎ | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ | — | — |
| ●高良山の環境保全 | ◎ | ◎ | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ | ・樹木剪定など管理業務実施 ・高良山観光ボランティアガイドの会との保全活動 | ・予算確保と危険箇所の把握 |
| ●高良山の歴史遺産活用の促進 | ○ | ◎ | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ | ・高良山観光ボランティアガイドの会によるサイン設置 | ・令和4年度、高良山総合調査シンポジウム開催予定 |
| (2)石室を彩る原始絵画 -耳納北麓の装飾古墳- | | | | | | | | | | | |
| ●耳納北麓の装飾古墳の整備 | ○ | ◎ | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ | ・下馬場古墳保存活用指導委員会の発足準備 | ・令和4年度からの検討開始 |
| ●原始絵画をテーマとした文化芸術振興 | ◎ | ◎ | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ | — | — |
| ●耳納北麓の装飾古墳めぐりの実施 | ○ | ◎ | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ | ・コロナ禍で未実施 ・山王古墳群での現地説明会開催 | ・地域や周辺市町村との連携による古墳めぐりの開催 |

| 筑後川遺産による歴史遺産の保存・活用 | 主体 | | 実施期間 | | | | | | 実績 | 備考 |
|-------------------------------|----|---|------|----|----|----|----|--------|---|-------------------------|
| | 地域 | 市 | 前期 | | | | | 後期 | | |
| | | | R3 | R4 | R5 | R6 | R7 | R8~R12 | | |
| (3)高良遊山 -絵葉書で観光ませう- | | | | | | | | | | |
| ●高良遊山の観光プロモーション | ◎ | ○ | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ | | ●高良山シンポジウムの開催検討(令和4年度開催予定) | ●観光部局との情報共有と企画立案など |
| ●高良山の観光形成 | ◎ | ◎ | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ | ●未実施 | ●観光部局との情報共有と企画立案など |
| ●新たなスポットの創出 | ◎ | ◎ | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ | | ●本宮山古墳(杉ノ城)の踏査 | ●現地踏査と情報収集 |
| ●散策コースの整備 | ○ | ◎ | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ | | ●管理業務実施 ●高良山観光ボランティアガイドの会との保全活動 | ●予算確保と危険箇所の把握 |
| ●絵葉書の収集 | ◎ | ◎ | | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ | — | — |
| (4)軍の記憶 -久留米の戦争遺跡を訪ねて- | | | | | | | | | | |
| ●軍の記憶の調査と保存 | △ | ◎ | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ | | ●戦争関係資料の収集と調査実施 | ●積極的な情報提供の呼びかけ |
| ●戦争遺跡の指定・登録等の検討 | △ | ◎ | | ■ | ■ | ■ | ■ | | ●県教委との現地協議実施 | ●保存方針の決定と指定・登録への準備開始 |
| ●戦争遺跡活用事業の促進 | ◎ | ◎ | | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ | ●地域住民との意見交換 ●出前講座の開催 | ●関連イベント等の開催による戦争関連遺跡の周知 |
| ●軍都に関連して生まれた地場産業の紹介 | ◎ | ○ | | ■ | ■ | ■ | ■ | | — | — |
| (5)水沼の君の時代 | | | | | | | | | | |
| ●水沼の君の時代の学習促進 | ◎ | ○ | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ | | ●出前講座による周知 | ●周知を図る機会を増やす |
| ●水沼の君に関連する歴史遺産の保存 | ◎ | ◎ | | ■ | ■ | ■ | ■ | | — | — |
| ●水沼の君の時代活用事業の促進 | ◎ | ◎ | | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ | ●西部ツーリズム協議会との協議 | — |
| ●散策コースの整備 | ○ | ◎ | | ■ | ■ | ■ | ■ | | ●西部ツーリズム協議会との協議 | — |
| (6)梅林寺四百年 -大名有馬家の菩提寺- | | | | | | | | | | |
| ●梅林寺に伝わる歴史遺産の調査・研究 | △ | ◎ | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ | | ●令和4年度石燈籠調査の準備 ●歴史資料の確認 ●所蔵文献目録のデータベース化 | ●所蔵資料の計画的調査 |
| ●梅林寺の一般公開機会の創出 | ◎ | ◎ | | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ | ●久留米まち旅博覧会での資料公開 ●地元・京隈かいわいめぐりでの解説(予定) | ●継続した資料公開機会の創出 |
| ●梅林寺境内歴史遺産の防災・防犯等、保存環境の整備 | △ | ◎ | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ | | ●唐門(県指定)への自火報設置予算化(令和4年度設置) ●有馬家霊屋(重文)の修理・防災事業見積 | ●遅延なき事業推進 |

